



毎月第3主日は日本キリスト教団の定めた
「日本伝道の推進を祈る日」です

共に祈るために

全国17教区が取り組んでいる伝道の働きを
2教区（東京は支区）ずつ紹介します。
全国の教区・教会・伝道所を覚えて
祈りをあわせましょう。

献金についての問い合わせは
日本基督教団事務局まで（TEL 03-3202-0541）

日本基督教団伝道推進 基本方針

- 祈祷運動 共に祈ろう
- 信徒運動 共に伝えよう
- 献金運動 共に献げよう

「日本基督教団全国伝道推進献金」
振替口座 00140-7-293436

祈りの課題

中部教区

- 岐阜地区と東濃3教会のために。
岐阜地区 8教会 現住陪餐177名
うち東濃3教会 現住陪餐 29名
(2021年3月末現在)

郵便振替 00830-7-52037
「日本基督教団中部教区」

東海教区

- 会堂・牧師館建築を行っている以下の教会のため。
飯田入舟教会、伊那坂下教会、諏訪教会、富士教会、静岡教会

郵便振替 00470-8-7028
「東海教区事務所」

東海教区

長野・山梨・静岡からなる東海教区の4年前の教区総会でわたしが議長に選出されたとき、「御言葉が響き合う教区としたい」と抱負を語りました。そのことが教区全体に受け入れられて、この4年間に「御言葉が響き合う」教区の歩みが具体的に醸し出されてきたことを感謝しています。

東海教区は伝道五カ年計画として、日本基督教団信仰告白の「教会」についての告白を道しるべとして歩んできました。2020年度は「主の再び来たり給ふを待ち望む教会」を主題に、教区主催の伝道協議会と信徒修養会を行いました。残念ながら、コロナ下にあつて、伝道部の中にある婦人専門委員会、青年専門委員会、農村伝道専門委員会のそれぞれの研修会は中止になるなど、神さまのご委託にお応えできなかった面もありました。

また、「主の祈り」を日に3度、それも食前の祈りで祈ることを機会のあることに議長として提唱してきました。このことは、1世紀ごろに書かれた「十二使徒の教訓」に記されていることを参考にしています。実際に「主の祈り」を毎日祈ることは、

中部教区

中部教区は、富山、石川、福井、愛知東、愛知西、岐阜、三重の6県7地区からなり、ここに103の教会・伝道所があります。今回、中部教区として祈りに覚えていただきたいのは、岐阜県南東部の中津川市に位置する東濃伝道圏の3教会です。岐阜地区会長の西川幸作牧師より紹介いたします。

(中部教区総会議長 田口博之)
JR中央線坂下駅近くの坂下教会。その西方12キロ、小高い丘の上に立つ田瀬教会。そこから北へ9キロ、風光明媚な付知峡の



3月に開かれた東海教区信徒修養会

「主の祈り」に聞くという信仰の姿勢を生み出し、どのような試練の中にあつても、喜びある信仰生活へと導いてくれます。今年度の東海教区は、終末論的視点に立ち、「終わりに向かつて歩む教会」を主題として歩みを整えています。「教区通信」(17号)に「神の国に生きる者として、今を見つめる」と題した山梨教会の及川信牧師とわたしの対談記事を掲載しました。これが、これからの歩みの幻となっていくことを願っています。

(前東海教区総会議長 宮本義弘)

町にある付知教会。これが東濃3教会です。各教会に教師が遣わされた時期もありましたが、経済事情などにより、1人の教師が3教会を兼任する体制が求められるようになりました。

そして2018年、3教会は若林治郎教師を招聘しました。若林教師は着任以来、午前と午後に2教会の礼拝で奉仕し、残る1教会は地区・教区の教師を招いて礼拝しています。また、月に1度は3教会合同礼拝を行っています。

中部教区として、また岐阜地区としても、東濃伝道圏の3教会を祈りに覚え、互助支援を継続してきました。3教会もまた互いの教会、岐阜地区、中部教区を祈りに覚え、昨年来のコロナ禍に在宅礼拝などの対策を取りつつですが、活動を継続しています。

「教会はなによりもその教会がおかれている地域社会のために存在をしているのです」(相沢良一「共に福音にあずかるために」一粒社、1993年)。3教会は地域に開かれた教会として、地域社会の平和と祝福を祈り続けています。坂下教会、田瀬教会、付知教会が伝道の灯をともし続けられるよう、ご支援をお願いいたします。

(岐阜地区区会長 西川幸作)



2019年付知教会で開かれた岐阜地区合同礼拝で